

2012 年度プロジェクト研究活動報告

1. 国立女性教育会館の夏のフォーラムにてワークショップ実施

2012 年 8 月 24 日（金）から 26 日（日）の 3 日間、国立女性教育会館にて「男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム（NWE C フォーラム）」が開催された。当研究所では 25 日（土）の午後に、「就労支援として、いま何が求められているのか～〈女性とキャリアに関する調査〉5155 人の調査結果から～」と題したワークショップを実施、収容人数 30 人の教室が、満員となる 32 人の参加者を得た。

ワークショップでは、当研究所が 2011 年の秋に行った、首都圏 5155 人の高学歴女性を対象とした調査結果をもとに、女性の就労実態や就労意識について 6 人の研究員がそれぞれの視点から報告（詳細は下記参照）、その後、女性の就労支援の現状や方向性について、フロアとの意見交換を行った。地方で女性の就労支援にあたられている参加者から、非正規雇用でキャリアが細切れになってしまう女性たちの厳しい状況が報告されるなど、フロアからも積極的な質問や意見が出された。予定時間の 2 時間を 15 分ほど延長することになったが、研究員にとっても学ぶことの多い有意義なワークショップとなった。

【NWE C フォーラム・ワークショップ・報告内容】

「就労支援として、いま何が求められているのか

～〈女性とキャリアに関する調査〉5155 人の調査結果から～」

1. 「女性とキャリアに関する調査」調査概要と対象者
～高学歴女性 5155 人の 5 つの就労パターンとその特徴～（盧回男）
2. 誰が初職を継続しているのか（三具淳子）
3. 断続するキャリア～転職・再就職層に着目して～（杉浦浩美）
4. 非正規雇用から始まった女性のキャリア（斎藤真由子）
5. 非就業女性の現状と就業意欲～非就業女性の就業支援にむけて～（御手洗由佳）
6. 女性のキャリア志向と社会経済状況～「氷河期世代」に着目して～（仲田周子）
7. フロアとのディスカッション

2. 第 85 回日本社会学会にて報告

2012 年 11 月 4 日（日）、札幌学院大学にて開催された第 85 回日本社会学会大会の「産業・労働・組織」部会において「女性とキャリアに関する調査」の報告を行った。

研究員それぞれが調査結果にもとづき、分析視点を変えて 5 つのテーマを設定、第 1

報告の「ライフコース 5 パターンの特徴に焦点をあてて」では、初職継続、転職、再就職、離職など女性のキャリアパターンに着目し、それぞれの特徴を明らかにした。第 2 報告「就労意欲と断続するキャリア」では、女性の転職・再就職行動に焦点をあて、キャリアが断続する要因が、従来指摘されてきた家庭要因とは別にあることを主張した。第 3 報告「初職が「非正規」雇用の人に着目して」では、非正規雇用でキャリアをスタートした女性たちの、その後の軌跡をたどり、第 4 報告「「氷河期世代」と「氷河期前世代」に着目して」では、社会・経済状況との関連から、女性の就労意識の変化を明らかにした。最後に、第 5 報告「夫婦の対等性と妻の経済的自立に焦点をあてて」では、妻の就労が夫婦関係に与える影響についての分析結果を提示した。

【第 85 回日本社会学会・報告内容】

産業・労働・組織 部門（5）

1. 「ライフコース 5 パターンの特徴に焦点をあてて」（御手洗由佳・盧回男）
2. 「就労意欲と断続するキャリア」（杉浦浩美）
3. 「初職が「非正規」雇用の人に着目して」（斎藤真由子）
4. 「「氷河期世代」と「氷河期前世代」に着目して」（仲田周子）
5. 「夫婦の対等性と妻の経済的自立に焦点をあてて」（三具淳子）



※国立女性教育会館にてワークショップの様子